

Hyogo大好き!

13号
2021年
夏号

兵庫県議会議員

相崎 佐和子

県政活動ニュース



- ▶ 6月議会で代表質問をしました!
～ヤングケアラーの支援～
～新型コロナウイルス感染症の対策～

- 「第33回 サワコの茶話会」やります
- 動画・メルマガでも情報をお届け中

新型コロナウイルス感染症が蔓延して2回目の夏になりました。

ワクチン接種は少しずつ進んでいるもののワクチン自体の供給が芳しくなく、感染された方の数も残念ながらまた少しずつ増えています。決して気と手を抜いてはなりません。もう大丈夫だろうとこれまで踏んでいたブレーキを緩め、再び感染を拡大させるようなことは絶対に避けねばなりません。今こそその医療体制の強化・国と市町と連携した

ワクチン接種の推進など、いっそうのコロナ対策を展開することが最優先です。その上で、長期間にわたり大きな影響と打撃を受けている生活と経済を立て直し、ポストコロナの新しい社会をつくる道筋を確実に築いていくことに尽力します。

私たちの命と生活を守る、との想いは変わりません。誰もが心身ともに幸せに生きられる兵庫をめざして、これからも奮闘する決意です。よろしくお願いたします。



第33回 サワコの茶話会

普段思っていることなどを気軽に語り合う“サワコの茶話会”。「これに困っている」「こうするべきだ」「こんな想いを抱いている」・・・なんでもお話しください。聞いてみたい、雰囲気を見てみたい、なども大歓迎です。ぜひお気軽にご参加ください。お会いできるのを心より楽しみにしております。



お気軽におこしください!

- 日時：2021年8月21日(土) 14:00～16:00
- 場所：東りいたみホール3階 大会議室
- 申込：お名前&連絡先をメール・電話・FAXなどで

※感染症の状況によりオンライン開催にする場合があります
※飛び込み大歓迎ですが、資料準備のため事前にお知らせいただくと助かります
※保育はありませんがお子様連れも大歓迎です

6月議会で代表質問をしました!



県議会の代表質問とは?

第354回定例会(6月議会)にて、**代表質問で登壇**しました。議会では、想いや方向性を同じくする議員で“会派”というグループをつくって活動します。その会派を代表しての質問です。

代表質問は、任期4年の中で一度、回ってくるかこないかの(相崎の所属会派「ひょうご県民連合」の場合)貴重な機会です。伊丹市議会時代に代表質問は何度も経験しましたが、兵庫県議会では初めてで、かつ今任期では最後になるであろう代表質問であり、**内容を厳選して入念に準備**して望みました。質問内容と答弁を**2回にわたって報告**いたします。

～動画でもご覧いただけます～

「文字だけでは分かりにくい」との声をいただきました。動画でもご覧いただけます。合わせて見ていただければ嬉しいです。

兵庫県議会 動画配信

(議会を録画配信したものです)



相崎佐和子チャンネル

(要約して話しています)



こんな質問も しました

今号での報告の他に下記を質問しました。次号で報告します

- ・こども家庭センター(児童相談所)の強化
- ・私立高校授業料補助の拡充
- ・カーボンニュートラルへの取り組み
- ・信号灯器のLED化の推進

代表質問
その1

家族のケアが子どもの負担にならないように ～ヤングケアラーの支援～

“ヤングケアラー”とは?

病気や障がいがあったり高齢だったりする家族の世話をしている子どものことで、調査で中学2年生で5.7%、高校2年生で4.1%いることが分かっています。

世話が過度な負担となって勉学や心身の成長に影響が生じているのに、本人や周囲がそれを問題と認識しておらず必要なサポートが至っていないケースがあり、支援の必要性が注目されています。

痛ましい事件も発生

2019年、神戸市で21歳の女性が同居の90歳祖母を殺害した痛ましい事件がありました。女性は仕事をしながら認知症の祖母を一人で介護しており、相談先もわからないまま心身の限界を迎えてしまったとのこと。罪を犯したとはいえ胸が痛む事件でした。**他にもつらい状況のヤングケアラーが存在しているのではないか**と考えると、これは早急に支援をスタートせねばなりません。

兵庫県でも支援を!

国では、厚生労働省と文部科学省が合同で、福祉・介護・医療で連携した支援プロジェクトチームを立ち上げました。各自治体でも支援に取り組むところが増えていきます。

県も力強く取り組まねばなりません。**まず実態を把握し、支援計画を策定し、支援3本柱=①早期の発見、②実際の支援、③社会的認知度の向上**について早急かつ具体的に取り組むべきです。

答弁

- ・一人ひとりの状況に応じて必要な支援につなぐなど丁寧に対応する必要がある
- ・ヤングケアラーは周囲も気づきにくく本人や家族の自覚がないまま表面化せず、問題が複雑化する状況にある
- ・県は、4月から実態把握のため本人、民生・児童委員、子ども食堂、要保護児童対策地域協議会等に対して調査実施中
- ・調査結果を踏まえ、早期発見・相談支援・福祉サービスへの円滑な繋ぎなど、市町や関係機関との連携を強化して具体的方策を策定して推進する

相崎 コメント

子どもが家族の世話をすること自体は否定しません。ただ、それが過度な負担になって勉学や心身の成長にマイナスの影響が出ていて、SOSも出せない状況の子どもがいるのではないかと。そんな子どもの支援が必要だと強く思い、質問に取り上げました。

ヤングケアラーの支援は、二つのポイントがあります。1つは発見。本人や周囲が問題に気付かずに表面化しにくいゆえ、支援は申し出を待つのではなく積極的に対象者を発見することが肝要です。1つは連携。様々な分野に関わる事柄ゆえ、行政も縦割りではなく各部署の連携が重要です。これらを踏まえ、ヤングケアラーの支援を充実していきます。

検査体制の拡充を!

新型コロナウイルスの封じ込めには、徹底的な検査と完全な隔離が必要です。このウイルスの特徴は無症状でも感染力があること。気づかぬうちにウイルスが広まることが蔓延の一因であり、徹底的な検査で無症状の感染者を見つけることが肝要です。

県で実施すべき検査強化のテコ入れ策を2点、提案します。

1つは「社会的検査の充実」です。医療・介護・福祉の施設従事者への検査を、単発でなく定期実施したい。財源は、国1/2 県1/2 (地方創生臨時交付金で措置)、つまり県負担実質ゼロで実施が可能です。

1つは「濃厚接触者以外の検査の充実」です。濃厚接触者に該当しないが検査を希望される方も多く、費用補助が求められています。

答弁

- ・1日7,970件のPCR検査能力を確保(6月4日時点)
- ・社会福祉施設や医療機関等では、陽性者が確認されクラスター発生が懸念される場合、濃厚接触者以外も関係者に検査を実施
- ・希望する社会福祉施設等を対象に、新規職員・入所者に行政検査を実施

相崎コメント

国のコロナ対策分科会では「無症状者に膨大な検査を実施しても、陽性者はわずかで感染拡大防止には効果が薄い」としています。専門家のご意見は心から尊重しています。ただ、徹底的な検査を実施しなかった結果が未だにコロナが収束していない現状であり、わずかな陽性者を抑え込むことが収束のキモなのではないか、との思いもします。

国の腰が重くても、県独自で取り組める事柄について、これからも力強く声を上げてまいります。

医療体制の強化を!

ウイルス封じ込めのためには、徹底的な検査が必要です。検査を充実したら陽性確認が増加するので、**病床や療養施設がいっそう必要**です。

また今後、重症化リスクが高い変異株が脅威となりコロナの長期化も想定されることから、今こそ医療体制の強化を図らねばなりません。

県立加古川医療センターに整備したコロナ専門の重症者用専用病棟の他エリア追加整備など含めて、**今こそ医療体制を強化すべき**です。

答弁

- ・入院病床は、重症病床136床を含む1,151床を確保(6月4日現在)
- ・宿泊療養施設、1,500室程度の10施設を確保(6月4日現在)
- ・自宅療養(待機)には健康観察を実施し医療ケア体制を構築
- ・重症者用専用病棟の整備は、医師や看護師等の確保が課題

相崎コメント

質問時は陽性確認が減少傾向であり、私は逆に気の緩みが心配でした。ギアを安心モードにチェンジせず、今こそその医療体制の強化を呼びかけることが必要だとこの観点から質問しました。感染のリバウンドは絶対に避ける、医療体制の崩壊は二度と起こさない、と強く思っています。

もっと貯金しよう!

コロナ禍で都道府県が果たす役割がいっそう強く求められています。**各都道府県による状況に応じた対策には、当然経費が伴います。**

県は財源として国からの交付金などを活用して対策を講じてきました。ただ、**自治体の貯金である“財政基金”は、兵庫県の場合33億円**。行政規模に対して余裕がある状態とは言えません。(伊丹市は2019年決算で59億円。兵庫県より伊丹市の方が貯金が多い!) 収支不足(2027年度までに330億円見込み)を抑え込み、**一定の財政基金を積むべく、より厳しい行財政運営が必要**です。**財政基金を積むには、具体的にルール(剰余金の1/2)や目標額(標準財政規模の20%など)を定める**ことが必須です。

答弁

- ・財政基金は阪神・淡路大震災の復旧・復興事業費のため平成19年度末には300万円まで切り崩したが11年間の行財政構造改革を経て現在33億円
- ・不測の事態への対応や安定的な行政水準の維持という観点からは、財政規模の一定程度の財政基金を確保するのが財政運営上望ましい
- ・厳しい財政状況を踏まえながら、方針見直しの中で財政基金のあり方を検討していきたい
- ・感染症対策は、国の交付金などを最大限活用することを基本とし、必要な場合には県独自の対策を行う

相崎コメント

兵庫県の貯金額は33億円。余裕があるとは言えません(伊丹市の方が多い!)。300万円から33億まで増やしたことは評価できるし、コロナ対策では国からの交付金を活用できていると捉えています。ただ、財政基金がどうあるべきか考えるに、自立した行財政運営という観点で、やはり一定額は積むべきだと思ひ至ります。厳しい財政状況ですが、ルールを決めて財政基金を積むことを視野に、いっそうの行財政運営の改革に取り組んでいかねばなりません。

●スパコン富岳を活かす! ～会派の管内調査～

神戸ポートアイランドの理化学研究所(理研)にある「スーパーコンピューター富岳」を視察しました。スーパーコンピューター(=スパコン)は、膨大な量の計算を超高速でこなすコンピューターです。平たく言えば“すごい量の計算が、とんでもない速さでできるコンピューター”で、この技術が様々な研究や開発に役立つのです。

「富岳」はスパコンの中でも、計算速度などスパコン主要4指標で、2位以下を引き離してダントツ1位をキープしている、正真正銘の「世界のスパコン」です。それが県内(神戸ポートアイランドの理研)に存在する意義を認識し、県として利活用のバックアップに取り組みたいところです。

具体的には、企業や研究機関への情報発信とRR、研究における助成金、利用のマッチングやコーディネーター、活用方法などの講習会・・・できることは山積。県にある世界のスパコン「富岳」。利活用の支援を積極的に進めていきます。



●水素エネルギーに注目! ～会派の管内調査～

神戸空港島にある水素実証基地を視察しました。水素エネルギーは、温室効果ガス排出削減に寄与する次世代の新エネルギーとして注目されています。

オーストラリアの広大な褐炭炭鉱からの水素を液化して1/800に凝縮し専用船舶で国内に輸送するプロジェクトがあり、神戸のプラントでの受け入れが計画されています。水素社会の推進において兵庫県はポテンシャルが高いとのこと。発電や製鉄など活用が見込まれる分野で関係企業と連携して先導する役割が期待されています。

水素エネルギー活用は、コストダウンが課題であるものの、環境問題対策に大きな可能性を秘めています。関係企業等を巻き込んだ仕組みづくりなど、積極的な働きかけを行っていきます。



情報はどこから

もっと情報をお届けしたい、もっとお声をお聞きしたい。その思いから、様々な方法で情報を発信しています。皆様に情報が届き、お声を聴かせていただくことができれば嬉しい限りです。

動画「相崎佐和子チャンネル」

直接お会いしてお話している気持ちで語っています。

視聴方法

ユーチューブで「相崎佐和子チャンネル」と検索するか、QRコードを読み取ってください。



メールマガジン「相崎佐和子レター」

親しい方に手紙をお送りする気持ちで書いています。

登録方法

下記の連絡先までメールアドレスをお教えてください。メルマガ登録します。

～Profile～

- 1973年3月生
- 親和女子高校 ●奈良教育大学 ●// 大学院(政治学ゼミ)
- ORIXブルーウエーブ マスコットガール
- 地元ケーブルテレビ(現:ベイコム)アナウンサー
- 第12代兵庫県広報専門員
- 伊丹市議会議員(3期) ●第61代 伊丹市議会議員
- 阪神市議会議長会 会長
- 兵庫県議会議員(1期目)
- ローカルmanifesto推進連盟 共同代表
- 出産議員ネットワーク 関西代表
- 第11回manifesto大賞優秀賞 受賞
- 小学校・中学校(社会)・高校(地理歴史) 教員免許
- 家族: 夫・長女(高1)・次女(小6)

その他の情報

活動ニュース

バックナンバーは右記HPに。郵送希望はご連絡を

ホームページ
<http://sawako-aizaki.com>



Facebook

<https://www.facebook.com/sawako.aizaki>



ツイッター

<https://twitter.com/aizakisawako>



インスタグラム



YouTube



連絡先

発行元: 相崎佐和子
伊丹市西台2-5-11 松屋ビル2階
電話▶(072) 768-9260 FAX▶(072) 768-9261
メール▶sawako.aizaki@gmail.com